

平成21年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	高校生のための専門学校と高等学校の連携による職業体験講座		
法人名	学校法人斐川コア学園		
学校名	出雲コンピュータ専門学校		
代表者	理事長 石川 知幸	担当者 連絡先	事務長代理 内田 法子 TEL 0853-72-2500
1. 事業の概要等			
<p>1) 経緯・背景 本事業は、若年者の技術職に対する理解、認識が低いことから島根県の東部の専門学校と高等学校が連携し、進路を決定する高校生たちに、具体的な職業への理解を深めてもらうため、5つの専門学校がさまざまな講座等で職業体験の機会を提供した。</p> <p>2) 特徴 ・講座の基本構成は下記のとおり リハビリ体験学習講座 (8時間) グラフィックデザイン体験講座 (12時間) イラスト表現体験講座 (12時間) ガーデニング体験講座 (8時間) 製菓・製パン実践体験講座 (8時間) 美容師・理容師体験講座 (8時間) 医療事務の仕事体験講座 (8時間) パソコンの組立て体験講座 (8時間)</p> <p>3) 事業の実施 ・事業の実施に当たっての役割分担 実施委員会 …… 事業の計画・運営・まとめ 専修学校 5校 …… 体験講座募集・実施 高等学校 18校 …… 生徒の講座への参加</p> <p>4) 事業の概要 ・開設講座数 : 8講座 ・参加専修学校数 : 5校 ・参加高等学校数 : 18校 ・受講者数 : 115人 (内訳 : 高1生 35人 高2生 45人 高3生 35人) ・開催時期 : 8月4・5日 (6講座) 2日間 8月7・8日 (1講座) 2日間 10月24・25日 (1講座) 2日間</p>			

2. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座の実施

	講座名	講座内容	開催日	受講者数
1	リハビリ体験講座	治療手技や器具を使って身体の機能回復をはかる理学療法士の体験と作業活動を通じて心身のリハビリを行う作業療法士の仕事を体験	平成21年8月7日・8日	13名
2	グラフィックデザイン体験講座	東京からの講師を招いてグラフィックデザインの話や、楽しい作品制作を行う	平成21年8月4日・5日	2名
3	イラスト表現体験講座	第一線で活躍中のプロのイラストレータを招き、イラストの基本から実習を行う	平成21年8月4日・5日	9名
4	ガーデニング体験講座	造園家を招いて、日本庭園の傑作、ト蔵庭園の現場で修復作業や手入れを体験する	平成21年10月24日・25日	16名
5	製菓・製パン実践体験講座	簡単な調理実習とパーティ气氛で製菓実習を行う	平成21年8月4日・5日	19名
6	美容師・理容師体験講座	ヘアアレンジ、メイク、ネイルの基礎から応用までを行い、浴衣の着付けを行う	平成21年8月4日・5日	43名
7	医療事務の仕事体験講座	医事コンピュータを使って医療事務体験とアロマセラピーの活用法を体験	平成21年8月4日・5日	3名
8	パソコンの組立て体験講座	パソコンを分解して各装置の名称と役割を知り、自作のパソコンを作成する	平成21年8月4日・5日	10名

②その他

- 1) 従来の体験講座に加え、職業経験のある講師を招き講演を行い、実際の職業についての内容ややり甲斐について具体的に講義を行っていただいた。また講師としても講義をしていただいた。
- 2) 講座を受講修了した生徒に修了証を発行した。
- 3) 島根県内の800の企業、団体、法人に「これから社会人になる若者に期待する」ことについてアンケートを実施、回答をまとめ受講生へ配布し、社会人として期待していることを認識していただいた。
- 4) 企業からのアンケート集計結果を、進路指導に利用していただくよう高校及び受講した高校生に配布した。

3. 事業の成果・評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況・評価について

- 1) 受講生へのアンケート調査結果
 - ・講座の内容について
大変良かった 85.5%

良かった 14.5%

・ 講座の時間について

長かった 9.1%

普通 74.5%

少し短かった 16.4%

・ 今回の講座はこれからの就職を考える上で参考になったか

非常に参考になった 60.0%

参考になった 36.0%

参考にならなかった 0.8%

よくわからない 3.2%

これらの調査結果について8月26日に開催した第2回の実施委員会において分析、検討を行った。

定員に満たない講座もあったが、アンケートによると受講した生徒はどの講座も概ね良かったと回答してくれた。講座の時間についても2日間で8時間は良い時間設定であったようだ。またこれから進路を考える上でも概ね参考になったと回答してくれた。普段は見たり聞いたりだけのものが体験できたことは、生徒にとって進路に役立ったと思われる。

②次年度以降における課題・展開

受講生募集にあたり、ポスター・チラシを作成し高校に配布をしたが、募集期間が短かったこともあり高校生への周知が十分にはできなかった、そのため定員に達しなかった講座もあり残念であった。

高校生の職業理解の一つとして、この企画が高校生の職業選択の役にたてたと思う。今回は5つの専門学校で行い、一つの職業しか体験できなかったが、複数の講座を体験できるようなシステムもよいのではないかと思う。